

## 外国文化研究会 活動報告

初等教育科 秦 潤一郎

外国文化研究会では、本年度は4名という少人数ながら、昨年からの所属する2年生の学生を中心に、主に4つの活動を行った。その活動の概要を以下に報告する。

### ①新入生に対する「研究会紹介」に向けた活動

令和5年4月19日、初等教育科1年生全員を対象とした「研究会紹介」の開催に当たり、本研究会も動画と発表により発表を行った。特に、本研究会所属の学生は4月時点で2年生3名のみであったことから、存続危機の懸念も感じつつ、一人でも多くの新入生を呼び込もうと協力して準備に励んだ。

動画作成では、基本構成を早朝7時の起床から23時の就寝に至るまで、部長の学生が常に英語の絵本と共に過ごす形で考案した。顧問も交えつつ、やや非現実的な楽しい構成を考えては撮影し、3人で協力しながらおよそ2分間の動画を制作した。



「研究会紹介」の動画の一部

当日は、動画の視聴に加え、壇上に上がった学生による英語を使った呼びかけも功を奏し、全体的に好評を得ることができ、学生も一様に

安堵感に溢れていた。その努力もあり、3名の新入生の申し込みを得ることができた。

### ②「オープンキャンパス」における研究会紹介動画の作成

前述の「研究会紹介」に加え、「オープンキャンパス」(全3回)においても動画により研究会紹介を行うこととなり、その制作に取り組んだ。

当初は、研究会紹介で発表した動画を再度使用する予定であったが、今回は学生が壇上に上がり口頭によって呼びかけや説明を行う機会がなく、動画のみの紹介となることから、その形では本研究会の良さや持ち味が伝わりにくいと、再度一から動画を編成することとした。

その結果、“外国文化研究会”の名称から、「本年度流行した外国映画」を取り入れること、映画の外国語の意味を理解する字幕を「外国文化研究会の魅力を紹介する文言」とすること、以上の2点から構成を考え、編集に取り組んだ。著作権を考慮し、動画には常時映画の名称を出典(映画『RRR』より)として設けた。



「オープンキャンパス」での紹介動画の一部

テンポの良い音楽とダンスを中心とした構成に加え、魅力を紹介する字幕が絶妙であったこ

とからも、動画は参加した高校生のみならず、職員からも好評を得ることができた。

### ③「ウィンターフェスティバル」における発表

11月には、別府大学短期大学部が毎年開催している「ウィンターフェスティバル」にて、来場いただいた市内の公立幼稚園の園児を対象に発表を行った。

この発表については2つの目的があった。1点目は、このフェスティバル自体の主たる目的とも合致する、「幼児に楽しんでもらうこと」である。ただ楽しんでもらうだけでなく、そこに“英語（外国語）”を用いることを含まねばならず、時間をかけて構成を考えた。その結果、まずは幼児にも親しめるよう、簡単で分かりやすい英語の絵本を用いることとした。簡単で分かりやすい英語に加えて、はっきりと可視化できる大型絵本を探したところ、Jr.Martin, Bill 著、Eric Carleイラストの「Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?」に決定した。この絵本は、簡単な英語が繰り返し用いられると同時に、明瞭な動物や色を用いたイラストと併せることにより、初めてでも英語が認識できやすい。また、様々な「色」の英語を中心に絵本が構成されていることから、幼児が一層英語に親しめる絵本でもある。

そしてこの絵本の読み聞かせに続き、坂田修氏作詞・作曲の『どんな色が好き』を幼児と共に歌った。大型絵本で印象づけた「色」と関係付けるだけでなく、学生が持つペットボトルの透明の水が歌詞中の色に合わせて変色する仕掛けを用いた振り付けを行うことで、幼児だけでなく、他の学生からも歓声が上るものとなった。出演団体の1番手ということもあり、一様に緊張した面持ちであったが、達成感や安堵感を感じながら舞台を降りた。

今回の発表の2つ目の目的は、「1年生への引き継ぎ」である。昨年から所属している2年

生が行えば難なく発表できるものではあるが、それを敢えて、特に英文の読みを1年生に任せることで、存続の期待を込めるものとしていた。

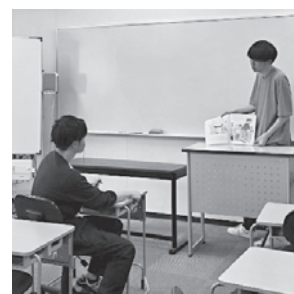


そのため、1年生が不安にならないよう、つきっきりで英文の読みを指導し、当日もボランティアで女子学生による日本語訳を間に入れたり、発表が止まった時のための補助役を備えたりと、安心して発表できるための準備も講じていた。その甲斐あって、1年生は初めての大舞台でも安心して発表でき、自信が持てたようである。

### ④日出町中央公民館主催「土曜日川崎っ子公民館クラブ」へのボランティア参加

6月に日出町教育委員会社会教育課社会福祉協議会より依頼があり、日出町川崎中央公民館で開催される「土曜日川崎っ子公民館クラブ」の教室で、外国文化研究会の学生が子どもたちとボランティアで交流を持つことになった。

この交流に向けて、夏休み前から交流内容を考えた結果、絵本の読み聞かせや、英語を使ったバルーン制作を指導し、子どもたちとの交流を持つこととなった。



準備を進める2年生

期日は12月の中旬に決定し、使用する教材の準備・購入をはじめ、当日の役割分担や場の設定等を計画していたが、11月下旬からのインフルエンザの流行により、年明けの2月に延期実施されることとなった。本来ならば当日の様子をここで紹介する予定であったが、このような企画が依頼され、内容を考案し、準備を進めてきたことは記録としてここに報告することとする。